

線形代数学第 1 - 期末試験問題 -

電子情報学類 1 年生 (1 組)

平成 22 年度前期 - 2010.8.4 -

1. $A \neq B$ であるが, 行空間が等しい 3×3 行列 A, B の例を示せ.
(参考) ガウスの前進消去により, 行空間は変化しない.
2. 線形独立なベクトル m 次元ベクトル v_1, v_2, \dots, v_n の線形結合で得られる m 次元ベクトル w_1, w_2, \dots, w_n が線形独立となるための条件を以下の手順で求めよ.
(a) v_1, v_2, \dots, v_n を列ベクトルとする $m \times n$ 行列を V , w_1, w_2, \dots, w_n を列ベクトルとする $m \times n$ 行列を W とすると, これらは次のように表される.

$$W = VH$$

H は結合係数を要素とする $n \times n$ 行列である. H の第 i 行, 第 j 列の要素を h_{ij} とするとき, w_k を v_1, v_2, \dots, v_n と H の要素を用いて表せ.

- (b) w_1, w_2, \dots, w_n が線形独立となるための条件は, 次式において, c が自明な解 $c = 0$ のみを持つことである.

$$Wc = 0 \tag{1}$$

この条件を H に対する条件 (*) に置き換えよ.

(参考) v_1, v_2, \dots, v_n は線形独立であるから, $Vd = 0$ を満たす d は零ベクトルのみである.

(*) 行ベクトルや列ベクトルが線形独立 / 線形従属, 行列が正則 / 特異など.

3. 次の方程式を $Ax = b$ と表す. 以下の間に答えよ.

$$\begin{bmatrix} -1 & 1 & 0 \\ 2 & 0 & -1 \\ 1 & 1 & -1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} u \\ v \\ w \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} b_1 \\ b_2 \\ b_3 \end{bmatrix}$$

- (a) ガウスの前進消去により, この方程式を変形し, 解を持つための条件を b_1, b_2, b_3 で表せ.
- (b) ベクトル b を行列 A の列ベクトルの線形結合で表し, 上で求めた b_1, b_2, b_3 に対する条件を満たすことを示せ.

4. 次の方程式 $Ax = b$ の一般解を求めよ. $Ax = 0$ の一般解と, $Ax = b$ の特殊解の和の形で表せ.

$$\begin{bmatrix} -1 & 2 & -1 \\ 1 & -1 & 2 \\ 1 & 0 & 3 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} u \\ v \\ w \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} 1 \\ -2 \\ -3 \end{bmatrix}$$

5. ベクトル $v = [x, y, z]^T, x + y + z = 0$ で張られる空間 V に対する直交補空間 W を求めよ.

6. 次の行列に付随する 4 つの基本部分空間 (行空間, 零空間, 列空間, 左零空間) を求めよ (空間の次元と基底を求める). さらに, 行空間と零空間, 及び列空間と左零空間が直交することを確かめよ. (基底が直交することを示す).

$$A = \begin{bmatrix} 1 & -1 & 0 & 2 \\ 2 & 0 & -1 & 1 \\ -1 & -1 & 1 & 1 \end{bmatrix}$$